

第83回全国安全週間を迎えるにあたって

安全活動の着実な実行を望む

愛知労働局長
中 沖 なか おき
剛 ごう



平成22年度の全国安全週間が、「みんなで進めようリスクアセスメントめざそう職場の安全・安心」のスローガンの下、7月1日から7日までの間、全国的に展開されます。

全国安全週間は、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、労働者に深く関わる産業界において「自主的な労働災害防止活動の推進」と「安全意識の高揚と安全活動の定

着」が図られることを目的として、戦中戦後の混乱期にも一度も中断することなく展開され、広く産業界へ安全の啓発の役割を担い続け、本年度第83回目を迎えます。

産業安全に係る皆様方のご理解の下、各種安全管理活動を通して安全水準は着実に向上し、その結果、労働災害による被災者数は減少してきてはおりますが、それでもいまだに毎年多数の労働者が仕事中に被災しております。

愛知県における最近の労働災害の発生状況を見ますと、年ごとに増減を繰り返しながらも減少しており、平成21年には死

亡者数50人、休業4日以上6、188人となつて、それぞれ過去最少の記録を更新しました。しかしながら、一度に3人以上の多数の労働者が被災する重大災害の発生、有害物による中毒等の災害も依然として数多く発生している状況にあります。

これらの災害のうち、死亡災害についてみますと、事業場規模別では50人未満が全体の76%を占め、また、事故の型別では、交通事故（交通労働災害）、墜落・転落、挟まれ・巻き込まれの順に多く、全体の68%を占めています。被災年齢別では、50歳以上の高齢者の労働災害が30人で、死亡災

害全体の約60%を占めています。

当局においては、労働者の安全と健康を図るための施策として労働災害防止を行政推進の大きな柱に据え、平成20年度から平成24年度までを計画期間として策定した「第11次労働災害防止推進計画」の中で、

①死亡者数を平成24年において60人を大きく下回ること

②死傷者数（休業4日以上 の被災者数）を平成24年において平成19年と比べて15%以上減少させること

③労働者の健康確保対策を推進し、定期健康診断の有所見率の増加傾向に歯止めをかけ、減少させること

という目標を掲げて、その達成のため諸施策を展開しておりますが、特に、全国安全週間では、基本理念としている「人命尊重」を関係者一同がより確かなものとするた

愛知労働局のホームページ

「愛知労働局ホームページ」をご利用ください。労働基準監督署・ハローワークの地図、相談窓口、労働関係情報等掲載しております。

アドレス <http://www.aichi-rodo.go.jp/>

問い合わせ先 愛知労働局総務部企画室（電話：052-972-0252）

め、さまざまな活動を展開しております。

労働災害の防止に関しては、労働災害の発生によりその災害が再び起きないように対策を講じるといういわば「災害に学ぶ」対策では労働の場には潜む危険を防止するにはおのずと限界があり、このため職場内に潜むリスクの低減を図る上でリス

クアセスメントの導入が欠かせなくなっています。職場のリスクを低減させる上で大きな効果があるとされるリスクアセスメントの手法を安全管理活動に取り込み、広く産業界に普及・定着がされるよう推進することが重要と考えております。そして、このリスクアセスメントの確実な実施によつ

て労働安全衛生マネジメントシステムの運用が一層推進され、職場における安全衛生水準のバイラル的な向上を期待しております。各事業場におかれましては、本年度のスローガンを踏まえ、職場の安全・安心の達成に向けて、リスクアセスメントの積極的な取り組みをお願いいたします。

全国的に展開されているこの全国安全週間が一層意義あるものとなるよう、そして、これらの取り組みにより、職場の一人ひと

りの胸に安全を第一とするところが大きく宿るよう切に願っております。



景気回復が期待される中、依然として厳しい経済状況ではありますが、いかなる経済情勢下であっても安全衛生水準や活動の低下は許されません。ぜひ、この全国安全週間を契機に、労働災害防止の重要性について改めて認識を深めていただき、安全活動の着実な実行を図っていただきますようお願いいたします。

最後に、長年にわたり

第83回全国安全週間スローガン

みんなで進めようリスクアセスメント めざそう職場の安全・安心